（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスぬくあい			
○保護者評価実施期間	2025年　2月　25日	～	2025年　3月　15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	15	（回答者数）	5
○従業者評価実施期間	2025年　3月　3日	～	2025年　3月　25日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　3月　31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの満足度が高い	子どもたちに向けたプログラムを多彩に用意し、飽きない工夫を実施している。	子どもたちの「やってみたい」というニーズを引き出し実施することで達成感を感じられるよう支援を行うようにする。
2	保護者との連携、情報共有	定期面談の他、日々の自宅送迎時に情報を共有している。	職員間での情報共有の機会を設け、支援に当たる職員全体での支援を行うようにする。
3	土曜日及び長期休業中の特別プログラムの充実	土曜及び学校が長期休業中は、調理や外出など普段の平日では行えない支援プログラムを企画し実施している。	利用者全員がまんべんなく様々な体験ができるよう、各々の利用状況を鑑みて計画を立てるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流	現状は保護者会の実施がない。 仕事をしている保護者が多くおり、保護者会等の日程調整が難しい。	早めに計画、告知をすることでできるだけ多くの方に参加いただけるよう配慮する。
2	家族支援プログラムや家族が参加できる研修の実施	研修等が従業者向けの内部研修に留まってしまっている。	面談等での聞き取りにより、家庭との連携を一層深め支援ニーズを把握する。 外部講師を招くなどして研修の機会を設ける。 施設当てに案内のある研修情報などを保護者へも発信していく。
3	関連機関や地域との連携	地位の関連機関等への参加が少ない。	学校や家庭だけではなく、相談支援事業所や利用者が就学前後に関わりを持つ施設、その他療育施設や協議会など、幅広く関わりを持てるよう努める。